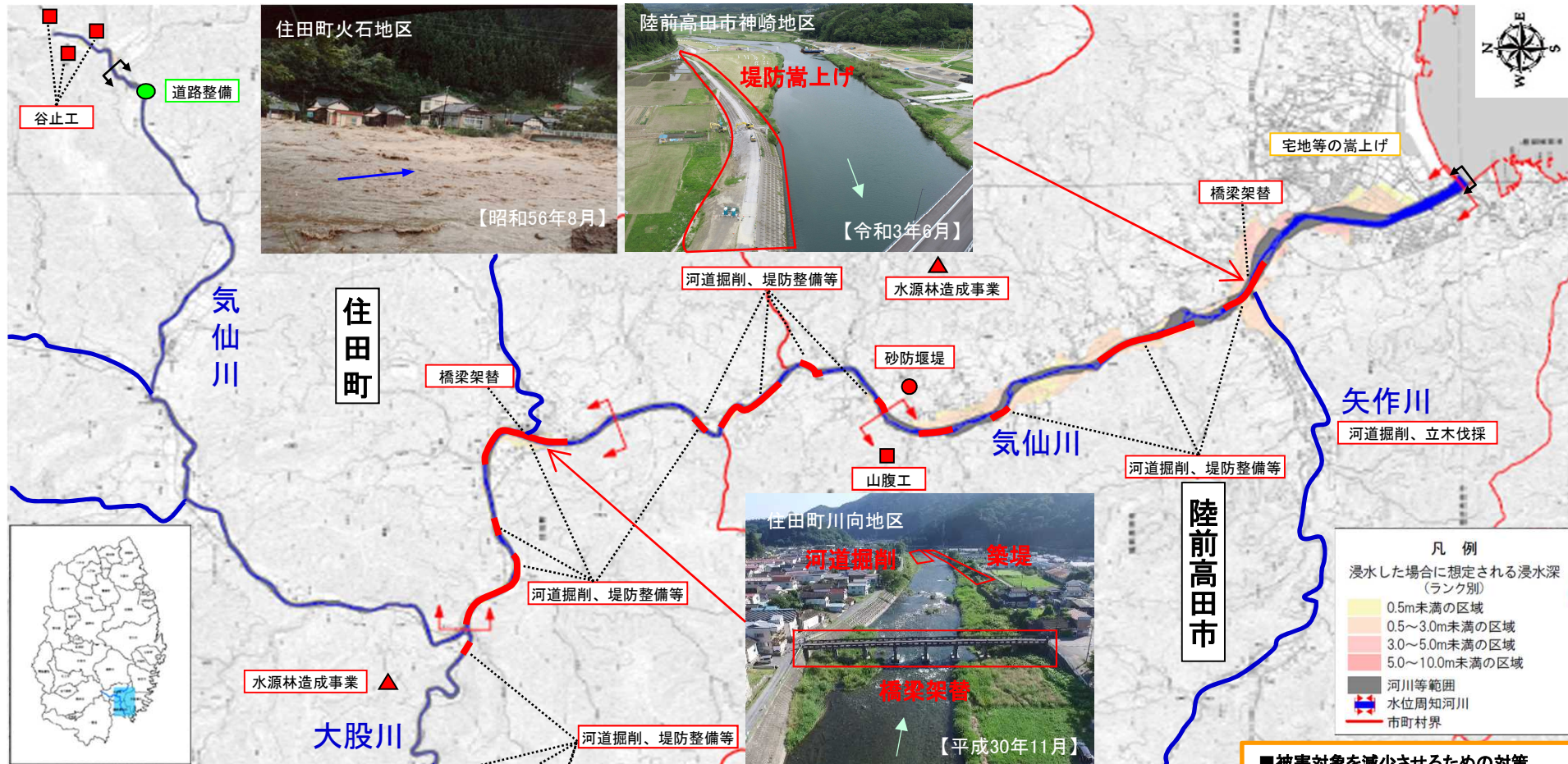


○気仙川は河川断面が狭小で安全度が低く、昭和56年、平成11年及び平成14年豪雨による洪水が発生したことを踏まえ、事前防災対策を進める必要があり、本川における河道掘削や堤防・護岸整備及び橋梁架替により、平成14年豪雨と同規模の洪水を安全に流すとともに、流域における砂防施設、治山施設、森林整備、道路の整備や避難のためのソフト対策に取り組み、流域が一体となり浸水被害の軽減を図る。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25,000 を複製したものである。（承認番号 平 29 情機、第 1061 号）」

- 凡例
- 河道掘削、築堤・橋梁架替 等
 - 砂防堰堤（対策済含む）
 - 治山施設等（対策済含む）
 - ▲ 森林事業等
 - 道路整備
 - ↔ 気仙川の県管理区間

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・河川改修(約49.5億円)【県】
対策内容)河道掘削、堤防整備、護岸整備等
 - ・橋梁架替【県、市町】
 - ・砂防堰堤整備【県】
 - ・治山谷止工等整備【国、県】
 - ・森林整備事業【国】

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・洪水・土砂災害ハザードマップの作成【陸前高田市・住田町】
 - ・水位周知河川運用【陸前高田市・住田町・県】
 - ・ホットライン、タイムライン運用【陸前高田市・住田町・県】
 - ・河川情報の充実(危機管理型水位計等設置・活用等)
【陸前高田市・住田町・県】等
 - ・幹線道路の整備による災害時の通行確保【県】

■ 被害対象を減少させるための対策
・宅地等の嵩上げ(浸水対策)【市】

